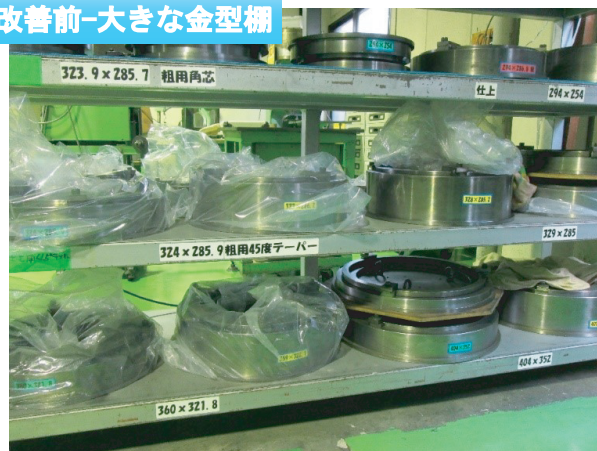


今回は、工場の3S活動を紹介します。弊社は、グラファイト素材のパッキンを製造しています。そのプレス成型工程で使用する1800個以上ある金型の管理が大変です。そして、金型の錆に関しては常に頭を悩ましています。今までは、小さな金型は棚全体をシートで覆い錆から守っており、大きな金型は一つ一つビニール袋に包んでいました。ビニールに包んでいる大きな金型は、棚から取り出しにくくビニールから取り出したりビニールに戻したりすることが手間でした。そこで今回は、良さそうな防錆シートが見つかったので全ての金型棚に防錆シートを貼り替える改善を行いました。

改善前-小さな金型棚



改善前-大きな金型棚



防錆効果のあるプラダン（防錆ダン）を棚板の上側と棚の側面に貼り付けました。改善後の小さな金型棚は、部屋が密閉されているので棚板にプラダンを敷いて側面にプラダンを貼りました。改善後の大きな金型棚は、同様に棚板と側面にプラダンを貼り、棚全体を防錆のフィルムで囲いました。両方の棚は、改善前に比べて見た目がスッキリしました。また、プラダンを敷いたことで大きい金型を滑らせて取り出せるようになり、取り出しが非常に楽になりました。実際に作業を行っている社員からも、金型が取り出しやすくなったと好評です。

改善後-小さな金型棚



改善後-大きな金型棚



しかし、本当にこのプラダンだけで完璧に錆から防げるのかとの声もあります。今のところ何も問題は起こっていないのですが、一番心配な梅雨の時期に何も問題が起こらないかだけです。この金型の問題は、3S開始当初からあった問題でした。しかし、何をすれば一番効果的かという改善案がなくて、後回しになっていました。今回は、その後回しになっていた問題に取り組んだ良い改善になりました。もし、何か錆で問題が起これば以前のビニールの方法に戻ることはなく、また違ったアプローチの改善を行うと思います。やはり何事も行動しないといけないなと改めて思った改善になりました。3S活動での改善は失敗してもやり直したら良いだけです、これからも後回しになっているところをドンドン改善していきます。今後、今回の防錆シートをやり直す改善を行っていたら、やっぱり錆たんだと思ってください。私も、どうなるか楽しみです。